

フォーラムテーマ

「放射線検査における 検査説明文・問診・同意のあり方」

核医学検査の 検査説明・同意についての調査

滋賀医科大学医学部附属病院 放射線部

木田 哲生

本発表の内容に関連する 利益相反事項は

☒ **ありません**



公益社団法人
日本放射線技術学会

理想的な検査説明のあり方

医療提供側が患者さんに対して、適切な治療を行うため、必要と考えた検査を受け入れるか否かの意思決定の材料となる情報を提供、具体的方法を示すこと。

理想的な検査への同意のあり方

医療提供側が患者さんに対して、予定検査により得られる情報や利得とそれによる損失の可能性について十分に説明し、患者さんの承諾を得ること。

理想的な検査の問診のあり方

医療提供側が患者さんから、必要と考えられる検査が安全に行えるかの情報を得る（確認する）こと。

検査説明・問診・同意と医療安全

検査説明

問診

リスク
アセスメント

伝えたいこと

知りたいこと

安心・受入



知りたいこと

あらゆる不安

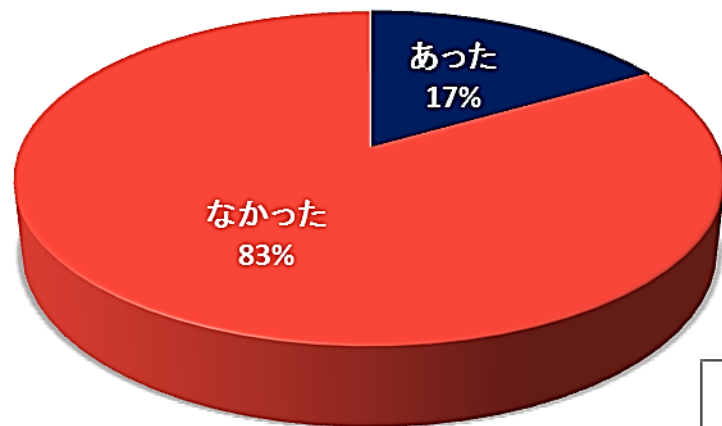
問診結果

検査への同意

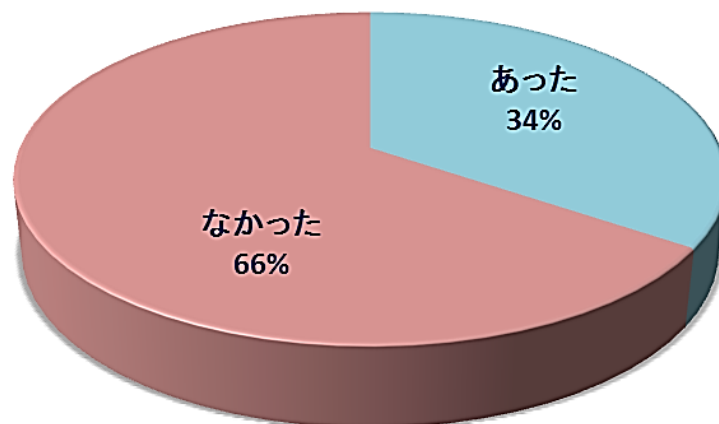
診察時の検査説明は有効か

(連続30名の患者さんへの聞き取り調査より)

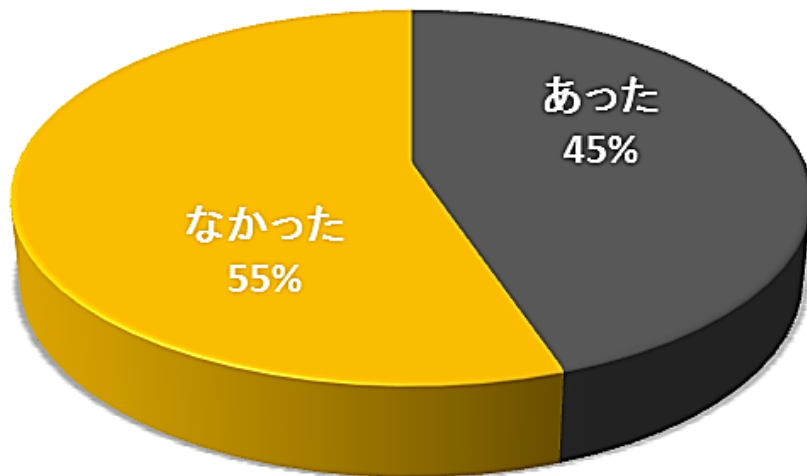
説明後、検査への不安は



検査の安全性の説明は



放射性物質を体内投与することの説明は

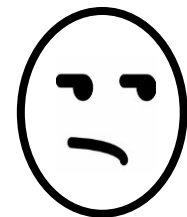


造影剤(みたいなもの)

ある薬を使って・・・

検査当日・・・

「えっ？私に放射性物質を・・・」



「聞いていない・・・」

核医学検査の特殊性

1. 放射性物質に対する嫌悪感

内部被ばくの説明と同意・受け入れ

2. 前処置

より正確な診断のために必要

3. 時間的拘束・検査機器

検査薬を投与・撮像・追跡・近接等

4. 検査後の注意

排泄物・環境モニタ―誤動作・行動制限

核医学における検査説明内容例

説明項目	目的	説明内容	説明不十分が誘発する不具合
放射性物質の投与	放射線リスクの受入	・ 短寿命のRI ・ 適正・最小限使用 ・ 障害の発生	・ 検査拒否 ・ 診療への不信感
前処置	正確な生体情報の取得	・ 検査前の制限	・ 診断能の低下 ・ 再検査・遅延
検査の流れ	スケジュールの確保	投与・撮像・追跡 (終了予定時間)	・ 検査拒否 ・ 再予約
撮像	撮像の安全	近接・圧迫感・時間	・ 撮像不可能 ・ 無用被ばく
検査費用	経済的な受入	大まかな検査費用	・ 損失感・クレーム
(必要時) 検査後の注意	環境モニタリングへの対策	環境各所センサーの誤動作の可能性	・ 遭遇時の被疑と不快感

検査説明方法とその特徴

説明部署	利 点	課 題
診察室 (依頼医)	患者さんの移動なし	・ 詳細が伝わらない可能性はある ・ 医師への教育 ・ 診察時間の延長
検査部門 (技師等)	・ 詳細な説明が可能 ・ 患者さんの状態把握 ・ 安全情報を得やすい	・ 患者さんが移動 ・ 説明者への教育
予約 センター (専門職員)	・ 検査予約の一元化により円滑な検査予約が可能	・ 患者さんが移動 ・ 予約取得のための時間 ・ 説明者への教育

実用的な検査説明書の作成・共有例の紹介

滋賀核医学研究会の会員が定型をもとに分担作成

核医学検査(肝胆道系シンチ)のご案内

今回、お受けになる検査はこのような検査です。安心してお受けください。

核医学検査(肝胆道系シンチ)とは

核医学検査(肝胆道系シンチ)に付けた薬は、目的の臓器に集積し、放射性同位元素を放出する薬です。使用するのは、肝臓と胆管です。

検査の目的

この検査は、胆汁の分泌と胆管の拡張の状況を確認することです。

検査の方法と流れ

検査台で横たわり、検査を受けることになります。

検査に先立ち、検査台で横たわり、検査を受けることになります。

検査を受ける方へ

核医学検査に用いる検査薬は、放射性同位元素を含みます。検査を受ける方は、検査を受ける前に、検査を受ける場所の放射線量を確認してください。

核医学検査(唾液腺分泌機能シンチ)のご案内

今回、お受けになる検査はこのような検査です。安心してお受けください。

核医学検査(唾液腺分泌機能シンチ)とは

核医学検査(唾液腺分泌機能シンチ)に付けた薬は、目的の臓器に集積し、放射性同位元素を放出する薬です。使用するのは、唾液腺です。

検査の目的

この検査は、唾液腺の分泌機能を確認することです。

検査の方法と流れ

検査台で横たわり、検査を受けることになります。

検査に先立ち、検査台で横たわり、検査を受けることになります。

検査を受ける方へ

核医学検査に用いる検査薬は、放射性同位元素を含みます。検査を受ける方は、検査を受ける前に、検査を受ける場所の放射線量を確認してください。

核医学検査(心筋脂肪酸代謝BMIPP)のご案内

今回、お受けになる検査はこのような検査です。安心してお受けください。

核医学検査(心筋脂肪酸代謝BMIPP)とは

核医学検査(心筋脂肪酸代謝BMIPP)に付けた薬は、目的の臓器に集積し、放射性同位元素を放出する薬です。使用するのは、心臓です。

検査の目的

この検査は、心臓の脂肪酸代謝機能を確認することです。

検査の方法と流れ

検査台で横たわり、検査を受けることになります。

検査に先立ち、検査台で横たわり、検査を受けることになります。

検査を受ける方へ

核医学検査に用いる検査薬は、放射性同位元素を含みます。検査を受ける方は、検査を受ける前に、検査を受ける場所の放射線量を確認してください。

核医学検査(脳血流ECOD)のご案内

今回、お受けになる検査はこのような検査です。安心してお受けください。

核医学検査(脳血流ECOD)とは

核医学検査(脳血流ECOD)に付けた薬は、目的の臓器に集積し、放射性同位元素を放出する薬です。使用するのは、脳です。

検査の目的

この検査は、脳血流を確認することです。

検査の方法と流れ

検査台で横たわり、検査を受けることになります。

検査に先立ち、検査台で横たわり、検査を受けることになります。

検査を受ける方へ

核医学検査に用いる検査薬は、放射性同位元素を含みます。検査を受ける方は、検査を受ける前に、検査を受ける場所の放射線量を確認してください。

核医学検査(チグラーフィ)のご案内

今回、お受けになる検査はこのような検査です。安心してお受けください。

核医学検査(チグラーフィ)とは

核医学検査(チグラーフィ)に付けた薬は、目的の臓器に集積し、放射性同位元素を放出する薬です。使用するのは、膵臓と胆管です。

検査の目的

この検査は、膵臓と胆管の機能を確認することです。

検査の方法と流れ

検査台で横たわり、検査を受けることになります。

検査に先立ち、検査台で横たわり、検査を受けることになります。

検査を受ける方へ

核医学検査に用いる検査薬は、放射性同位元素を含みます。検査を受ける方は、検査を受ける前に、検査を受ける場所の放射線量を確認してください。



編集・検討

配布(共有)

施設編集

説明・教育に利用

当院での検査予約・説明の流れ

検査の必要性和大まかな説明と同意取得

検査予約票の発行と検査説明へ誘導

601. 核医学検査予約票			
		ID-No.	0009546039
		氏名	テスト放射線部 O O さま
検査日時: 2016年03月25日 09時30分		生年月日	1945/04/01 性別 男
検査名:		診療科名	消化器外科
		検査依頼医	

病院一階のRI診療室受付にて、この度、お受けになる検査の詳しい説明と検査に際してお願いしたい事項をお伝えします。お帰りの際に必ずお立ち寄りください。

検査当日は、この「予約票」を持参して上記時間の10分前までに、直接、RI診療室受付にお越しください。

核医学受付での詳しい検査説明と問診

1) 受付事務員 2) 技師 3) 医師

予約日

当日

核医学担当者による理解度確認
必要により検査説明と問診

核医学検査（脳血流ECD）のご案内

今回、お受けになる検査はこのような検査です。安心してお受けください。

核医学検査（**RI検査**）では、放射線を発生させる元素（放射性同位元素）を特定の臓器に集まる物質に付けた薬（放射性医薬品といわれます）を静脈注射、服用または吸入により体内に入れて、その薬が目的の臓器に集まった様子から病変の検出を行ったり、あるいは目的臓器に入り、出ていく様子を画像として解析することにより、病変の把握を行います。この検査には、いくつかの種類がありますが、たいいていの検査は頭や体に響いていただいているだけです。使用する薬は、微量であり、副作用が非常に少なくその安全性は確立されています。

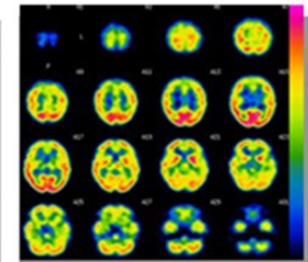
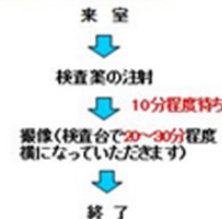
検査の目的

この検査は、脳内における血液の流れの異常の有無とその範囲の把握を目的として行います。
認知障害や脳血管障害が疑われるときに Rowe れます。

検査前の注意事項

食事や飲物の制限はありません。

検査の方法と流れ



検査結果の例

検査に先立って外に該当される方は申し出て下さい

- ・ 妊娠中あるいはその可能性のある方
- ・ 授乳中の方
- ・ 今までに重度アレルギー反応のあった方
- ・ 狭いところが苦手な方

検査を受けられる患者さまへ

核医学検査に用いる検査薬は、検査薬としての寿命が短いので、検査予約時に薬剤メーカに発注してあります。検査予定日に来院の都合がつかなくなった場合には、前日の午後5時までに以下までご連絡いただきますようお願いいたします。

当院医科大学医学部附属病院 放射線部 核医学受付 077-549-2712

作成 当院医科大学医学部附属病院 放射線部
(注) 当院放射線技師会 当院核医学研究会



おだいじに！

手書きにて書き込み追加

核医学検査受付での説明の優位点

- ・ 医師の説明を簡素化
- ・ 全ての検査の説明に対応
- ・ 検査室の場所がわかる.
- ・ 主治医に聞きにくいことでも聞ける
- ・ 前処置薬の処方の確認
- ・ 患者さんの理解度を確認、個別の対応
- ・ 患者さんの状態が確認でき、安全な検査の検討可能

検査説明の課題

- ・ 説明内容の均質のための教育・スキルアップ・要員
- ・ 検査説明以前に検査の適正についての確認
- ・ 検査ではなく、病状や治療についての質問への対応

まとめ

当院における核医学検査の予約時の主治医の検査説明は、患者さんの理解を十分に得られていないことが患者さんへの調査で明確となった。

そのため、当院例を紹介し、それを材料として、**検査説明のあり方と医療安全への寄与**について本フォーラムで調査し、考えましょう。